

## 第9期台東区高齢者保健福祉計画・台東区介護保険事業計画 中間のまとめ（案）について

### 1 策定経過

台東区高齢者実態調査（令和4年度）や介護保険制度の改正事項、学識経験者、医療・福祉関係者などからなる高齢者保健福祉推進協議会及び専門部会における検討を踏まえて、中間のまとめ（案）を策定した。

台東区高齢者実態調査	令和4年9月27日～10月19日
高齢者保健福祉推進協議会	令和5年6月6日、8月22日
高齢者保健福祉推進協議会専門部会	令和5年8月8日、10月17日

### 2 計画の概要

#### (1) 位置づけ

高齢者保健福祉計画は、老人福祉法に定める「老人福祉計画」に相当し、介護保険事業計画は、介護保険法に定める「介護保険事業計画」に相当し、基本理念や施策の考え方を共有していることから、一体的に策定する。

#### (2) 計画期間

令和6年度から令和8年度までの3年間とする。

### 3 高齢者人口の推計

台東区の将来人口推計によると、総人口は増加を続けていくものの、高齢者人口は令和7年から緩やかな減少傾向にあるが、令和22年までには増加に転じる見込みとなっている。また、前期高齢者人口（65～74歳）は令和7年までは減少傾向であるが、令和8年からは増加に転じる見込みである。一方、後期高齢者人口（75歳以上）は令和7年まで増加するが令和8年から減少に転じ、令和22年までには後期高齢者人口より前期高齢者人口が上回る見込みである。

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和22年
総人口	208,824	211,255	213,677	215,078	227,725
高齢者人口	44,935	45,703	45,619	45,531	52,375
高齢化率	21.5%	21.6%	21.3%	21.2%	23.0%
前期高齢者 (65～74歳)	19,964	19,693	18,911	18,986	27,893
後期高齢者 (75歳以上)	24,971	26,010	26,707	26,545	24,482
前期高齢者比	44.4%	43.1%	41.5%	41.7%	53.3%
後期高齢者比	55.6%	56.9%	58.5%	58.3%	46.7%

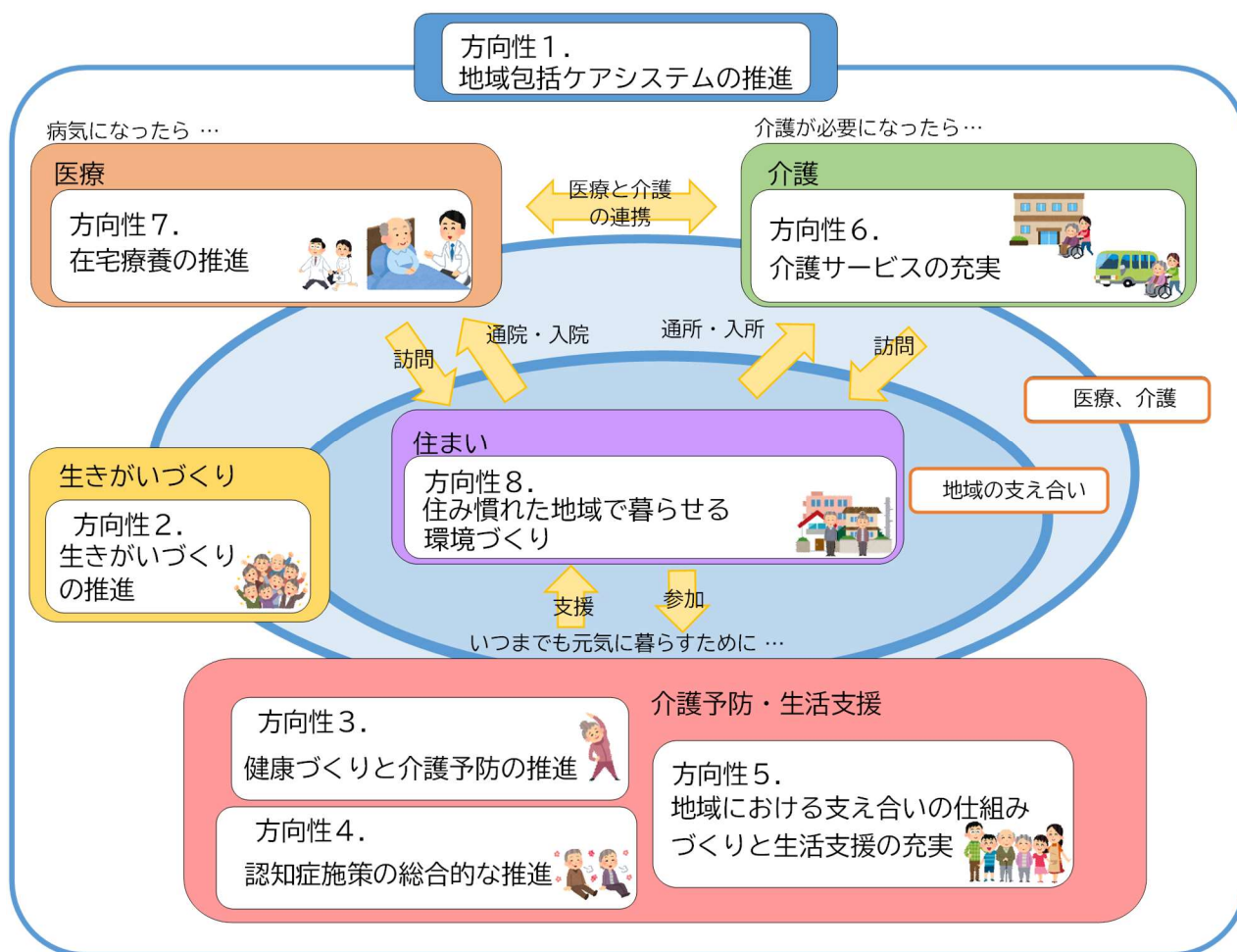
※令和5年は4月1日現在の住民基本台帳による人口、令和6年以降は推計

※推計の数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

#### 4 高齢者保健福祉計画

第9期計画は、区の基本構想をもとに、第8期計画の基本理念及び基本目標を引き継ぐこととした。施策体系については、全体にかかる基本的な施策として「地域包括ケアシステムの推進」を位置づけ、地域包括ケアシステムの5つの要素である「介護予防」・「生活支援」・「介護」・「医療」・「住まい」に「生きがいづくり」を加えた7つの施策体系から、新たに「認知症施策の総合的な推進」を施策体系の柱に加え、8つの施策の方向性とした。

【第9期計画の体系イメージ図】



## 【各施策の方向性の主な取組について】

### 方向性1 地域包括ケアシステムの推進

#### (1)相談・支援体制の推進

##### ◆4 【新規】包摂的な支援の仕組みづくり(福祉課)(27頁)

複合的な課題に対応していくための包摂的な支援の仕組みづくりに向けて、重層的支援体制整備事業の活用や区役所への地域福祉コーディネーターの配置などにより、区の対応力を充実します。

#### (2)地域における支援体制の推進

##### ◆5 地域ケア会議の実施(高齢福祉課)(28頁)

地域の医療・福祉・介護関係者等の専門多職種による個別事例の検討などにより、共通する課題やニーズを把握し、新たな施策、社会基盤の整備などにつなげます。

### 方向性2 生きがいづくりの推進

#### (1)社会参加の促進

##### ◆10 シルバー人材センター振興(高齢福祉課)(31頁)

就業機会の確保を通じて、高齢者の社会参加の促進と生きがいの充実を図るため、シルバー人材センターの事業運営を支援します。

##### ◆12 【新規】高齢者デジタル・ディバイド解消事業(情報政策課、高齢福祉課)(32頁)

高齢者等の情報格差(デジタル・ディバイド)の解消につなげるため、スマートフォンに慣れ親しみ利便性を理解してもらうための講座講師派遣や、操作に不慣れな高齢者を対象に、悩みや疑問等の解決を図る取り組みを進めます。

#### (2)地域交流の支援

##### ◆17 高齢者ふれあい入浴(高齢福祉課)(33頁)

高齢者の社会参加を促し、健康寿命の延伸を図るため、区内公衆浴場で利用できる割引入浴券を配付します。また、9月の老人の日・老人週間前後の指定日に公衆浴場の無料開放を行います。

### 方向性3 健康づくりと介護予防の推進

#### (1)健康管理と疾病予防の推進

##### ◆27 【新規】带状疱疹予防接種費用助成(保健予防課)(37頁)

带状疱疹の発症予防のため、带状疱疹予防接種費用の一部を助成します。

##### ◆32 【新規】高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進(健康課)(38頁)

高齢者の抱える様々な健康課題に対応するために、後期高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施し、疾病予防・重症化予防・フレイル予防等を行います。また、事業を推進するため、医療や介護関係団体の委員で構成された協議会を開催し、評価・検証を行います。

## (2)介護予防・フレイル予防の推進

### ◆35 【新規】フレイル予防の推進(高齢福祉課)(39頁)

住民主体のフレイル予防の取り組みを推進するためフレイル予防を推進するボランティア「フレイルサポーター」を養成し、介護予防教室等においてフレイルチェックを実施します。また、フレイルについての理解を深めるためのイベントを開催し、フレイルについての普及啓発を図ります。

### ◆36 地域による介護予防活動への支援(高齢福祉課)(39頁)

区民の主体的な介護予防・フレイル予防活動を広げていくため、体操などを地域に普及していくボランティアの育成・支援を行います。

また、高齢者が主体的に活動する通いの場の活動を支援するとともに、介護予防活動が継続的に行えるようICTを活用した支援を行います。

## 方向性4 認知症施策の総合的な推進

### (1)認知症予防の推進と早期発見

#### ◆42 【新規】認知症出前講座(高齢福祉課)(42頁)

より多くの方が短時間で気軽に認知症への理解と関心を深めていけるよう、区独自プログラムによる出張型のミニ講座を実施します。

#### ◆43 【新規】認知症検診(高齢福祉課)(42頁)

認知症を早期に発見し適切な支援につなげるため、認知症検診の実施に向けて検討を進めます。

#### ◆45 【新規】認知症の普及啓発(高齢福祉課)(43頁)

認知症の普及啓発のため、世界アルツハイマーデー(9月21日)を含む9月を「認知症月間」として、認知症に関する展示等を行います。

### (2)認知症高齢者への支援の充実

#### ◆47 認知症カフェの開催(44頁)

認知症高齢者とその家族、地域住民、介護や福祉の専門家など、誰もが気軽に集い、情報を共有し、お互いを理解し合う場として、認知症カフェを実施します。

## 方向性5 地域における支え合いの仕組みづくりと生活支援の充実

### (1)地域による見守りの推進

#### ◆50 高齢者地域見守りネットワーク(高齢福祉課)(47頁)

ひとり暮らし高齢者等を対象に、関係協力機関が連携して、声掛けや見守りを行います。また、見守りサポーターを養成し、地域全体による見守り体制の充実を図るとともに、「見守りネットワーク通信」を発行し、熱中症予防や見守り等に関する様々な情報について周知・啓発を図ります。

## (2)生活支援サービスの充実

### ◆54 福祉ボランティア育成・活動支援(福祉課:社会福祉協議会)(48頁)

高齢者や障害者が地域で安心して生活できるよう、社会福祉協議会が行う、ボランティアによる家事援助・介護援助・身の回り応援サービス(はつらつサービス)事業を支援します。また、介護支援ボランティアポイント事業等を活用し、福祉を支えるボランティアの育成・活動支援を実施します。

### ◆59 【新規】テレビ電話等機能付通信ロボット購入費助成(高齢福祉課)(48頁)

離れて暮らす家族等とのコミュニケーションを支援するため、テレビ電話等機能付通信ロボット(コミュニケーションロボット)の購入費の一部を助成します。

## (3)尊厳ある暮らしの支援

### ◆62 【新規】がん患者支援(保健サービス課)(49頁)

がん患者に対しウィッグや胸部補整具の購入費等の助成を行い、抱えている外見の悩みや心理的・経済的な負担の一部を軽減することで、社会生活を送る上で生じる課題を乗り越えることを支援します。

## 方向性6 介護サービスの充実

### (1)介護サービスの基盤の充実

#### ◆64 (仮称)竜泉二丁目福祉施設特別養護老人ホーム等の整備(高齢福祉課)(54頁)

区立特別養護老人ホーム三ノ輪、蔵前、千束の3施設を再編成し、旧竜泉中学校跡地に共生型のサービスを提供する高齢者福祉施設を整備します。

### (2)介護サービスの質的向上

#### ◆70 介護サービス人材確保・育成・定着支援の推進(介護保険課)(55頁)

質の高い介護サービスを安定的に提供するため、介護事業者と求職者のマッチングを図る介護職等就職フェアの開催や、介護従事者として働くための資格取得に要する研修受講費用の助成、専門力向上や採用力強化セミナーなどの事業者向け研修等を実施します。また、今後は介護職員への利用者やその家族からのハラスメント行為の対応支援や、事業所の経営に関する相談、介護従事者のメンタルヘルスに関する相談に対応するなど、働きやすい職場の環境整備に取り組み、介護人材の確保・育成・定着支援を総合的に推進します。

### (3)家族介護者への支援の充実

#### ◆78 【新規】ヤングケアラー支援(子ども家庭支援センター)(56頁)

ヤングケアラーに関する周知啓発のため、区職員向けの研修及び講演会等を行います。

## 方向性7 在宅療養の推進

### (1)在宅療養支援の充実

#### ◆79 在宅療養連携推進(健康課)(60頁)

病院から在宅療養への円滑な移行や、住み慣れた場所での安定的な在宅療養を支援するため、在宅療養支援窓口を中心とした相談対応を実施します。また、区民への普及啓発を行うほか、医療・介護関係者など多職種に向けた研修を行います。さらに、ICTネットワークなどを活用した多職種間の効果的な情報共有の支援を行うことで、更なる連携強化や在宅療養を推進する基盤を整備します。

### (2)医療・介護連携の推進

#### ◆81 医療・介護サービス情報の提供(介護保険課、健康課)(61頁)

医療・介護情報検索システムにより、医療機関等の往診・訪問診療や外国語対応の可否についての情報、介護サービス事業者のサービス提供体制や空き状況等の情報を提供します。

## 方向性8 住み慣れた地域で暮らせる環境づくり

### (1)高齢者の住まいの確保と住まい環境の向上

#### ◆84 高齢者住宅の供給(住宅課)(64頁)

住宅に困窮しているひとり暮らし高齢者または高齢者のみ世帯に対し、高齢者に配慮した安全で良質な住宅を供給します。また、入居者に対する生活指導や相談、安否確認等の業務を行う生活援助員(LSA)を配置し、高齢者の生活の質の維持向上を図ります。

### (2)福祉のまちづくりの推進

#### ◆90 バリアフリーの推進(都市計画課)(66頁)

台東区バリアフリー基本構想及び特定事業計画に基づき、重点整備地区である区内全域において、関係機関・事業者と協力し、区民施設、駅施設や道路などの生活関連施設や生活関連経路のバリアフリー化を推進します。

### (3)安全で安心して暮らせる環境づくり

#### ◆101 【新規】特殊詐欺被害防止対策(生活安全推進課)(68頁)

特殊詐欺による被害を防止するため、原則高齢者のみで居住する世帯に対して、自動通話録音機を無償貸与します。また、特殊詐欺被害防止対策等の周知啓発活動を実施します。

## 5 介護保険事業計画 ※数値は仮置き値

### (1) 被保険者数の推計 (11 頁)

直近の被保険者数から人口推計の変化率をもとに仮算出 (単位：人)

年 度	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和22年
第1号被保険者	45,307	45,282	45,181	45,088	52,119
(65～74歳)	19,594	18,932	18,564	18,619	27,374
(75歳以上)	25,713	26,350	26,617	26,469	24,745
第2号被保険者	75,864	78,018	79,109	79,951	92,821
計	121,171	123,300	124,290	125,039	144,940

※「台東区の将来人口推計」を基に仮推計

### (2) 要支援・要介護認定者数の推計 (12～13 頁)

被保険者数や要介護認定率の動向を踏まえて推計 (単位：人)

年 度	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和22年
第1号被保険者	10,505	10,641	10,805	10,909	11,513
第2号被保険者	214	213	216	217	250
計	10,719	10,854	11,021	11,126	11,763

※被保険者数や過去の要支援・要介護認定者率の傾向をふまえて仮推計

### (3) 介護保険サービスの利用者数の推計 (76～86 頁)

高齢者人口・要介護認定者数の推計等を考慮して過去の給付実績に基づき  
仮推計 (単位：人)

年 度	令和6年	令和7年	令和8年	合 計
居宅サービス	253,068	259,320	262,056	774,444
施設サービス	13,896	14,208	14,412	42,516
地域密着型サービス	12,468	12,396	12,552	37,416
計	279,432	285,924	289,020	854,376

※要支援・要介護認定者率の傾向をふまえて仮推計

※利用者数は、各年度とも年間延利用人数

### (4) 第1号被保険者の保険料 (95～97 頁)

現在検討中

※今後保険料算出に必要であり現在未確定の要素

- ・調整交付金の調整率【国】
- ・制度見直し（国において検討中）に伴う財政影響（係数）【国】
- ・介護報酬改定率【国】
- ・被保険者、要介護認定者の推計人数【区】
- ・保険料段階の見直し（現行14段階→もう1段階か2段階増やすなど）【区】
- ・コロナ収束を見据えた介護サービス利用動向の見立て【区】
- ・介護給付費準備基金の活用【区】